



建築ふくい

家づくり 街づくり 人づくり

一般社団法人 福井県建築組合連合会

現代の名工表彰 **3**面
 組員限定 損害保険スタート **4**面
 猛暑の中でイスづくり **5**面
 レベル4自動運転 **6**面

<http://www.kenchiku-fukui.com>
 e-mail: info@kenchiku-fukui.com



発行/(一社)福井県建築組合連合会 〒910-0859 福井市日之出5丁目4番7号 電話 0776-54-2615 FAX 0776-54-8878 発行人/竹島正和 編集/教宣委員会



紫式部公園 山田進氏(河和田組合)撮影

年頭にあたり

一般社団法人 福井県建築組合連合会

会長 竹島正和



新年あけましておめでとうございます。
 新しい年を迎え、皆さまの健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

日頃は、連合会の事業推進にご支援ご協力をいただき改めて御礼申し上げます。

昨年1月1日能登地震があり、恐怖と不安を抱いての新年の始まりではなかったでしょうか。その後も各地域で水害も発生しており、自然災害の不安を常に力かかえて生活する時代になったように思います。

能登の仮設住宅施工に関しては、多くの組合員に就労していただき誠にありがとうございました。10月に国土交通省より仮設住宅就労に貢献したとこのこと感謝状を頂きました。

さて、当組合の事業推進ですが、組織強化と会員増強を目的とした7つの新事業を立ち上げさせていただきました。

会員増強プロジェクトチームは、年に一度の研修会を受けていただき組織拡大行動につなげていただき、ふくいプライムCLUBは、青年部のフォローと今後の連合会の在り方を検討していただく会として立ち上げました。また県連マスタースタイルCLUBは、70歳以上の組合員を対象として設立し介護事業・木工教室・木づかい塾への参加、会員内での職人不足時の応援などに取り組んでいただくと予定です。これまで県連にご協力いただいたことへの敬意を表すために、古希祝金の贈呈も行わせていただいております。県連の各役員が70歳になった組合員のお宅に個別にお伺いしております。

無料専門家相談サービスや損害保険の導入も行います。特に、専門家相談サービスについては、多様な相談に対応できるように法律・税務・労務・登記・行政の専門家に依頼しております。私事なことでも遠慮なく利用していただきたいと思います。

また、組織強化・情報伝達の強化を目的としてLINE公式アカウントを運用していく予定です。今回の能登地震における仮設住宅就労案内方法では、日々変化する就労状況・追加人員募集など毎メールや電話での対応ではうまくいかなかったことへの反省も含まれています。万が一福井県で災害が起きた場合の新たな情報伝達手段として考えております。これまでの連絡事項や案内事項も統一した日付でお知らせできるのではないかと考えております。

本年も組織強化・会員増強を目指して事業展開していきたくと考えていますので、これまで以上のご協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが、建設業界は大変な時期になっています。こんな時こそ皆で助け合って乗り越えていき、良き一年を過ごしましょう。
 本年もよろしくお願ひ申し上げます。

北信越地協青年部交流集会



意見を交わす青年部員たち

9月28日・29日富山県富山市の富山県民会館にて、第2回北信越地協青年部交流集会在開催されました。北信越の各県から計25名が集まりました。福井県建築組合連合会青年部からは、谷口全国幹事と土田の計2名が出席しました。

まず、北信越青年協議会会長である長野建設労連の巴青年部部長よりあいさつがあり、正月の大規模な地震と豪雨で被災した石川県の仲間へのお見舞いの言葉で始まり、「隣県の私たちが青年部でも何か力になれることがあるならぜひ声をかけてほしい。この会を通じてより北信越の親密な

関係を築きたい。」と力強く述べました。

次に、谷口幹事のあいさつでは「全国の情報北信越で共有し、北信越が更に盛り上がるように全国との架け橋となるよう全力で取り組む。」と抱負を述べました。

その後、各県の今年度の9月までの活動報告と今後の計画を順に各県部長より報告しました。活動報告は、スマホで撮った写真やデータを共有し、携帯を見ながらの非常に分かりやすい情報共有の場となりました。

続けて、全国青協統一行動についての議事があり、谷口幹事より現組合員への訪問活動を通じてコミュニケーションを取ることの重要性について話がありました。北信越でも今後取り入れていく必要性があるのではないかと話し、どのような方法で、どういった期間に、という詳細を議論しました。

最後に、次回11月開催

の全国青協幹部会議の案内があり会議は閉会となりました。

夜には交流集会参加者全員での懇親会があり、更なる情報交換、親睦の場となりました。

翌29日は場所を移し、富山市のガラス工房にてガラス細工作りを体験し、2日間の日程の幕を閉じました。

隣県の仲間との情報交換はとても勉強になり、福井県青年部としても参りにしたい内容も多く、とても有意義な2日間となりました。

青年部長
土田 洋輔

予算要求中央総決起大会に初参加

11月21日、年に一度の恒例行事である、全建総連「予算要求中央総決起大会」に参加しました。

私は宮崎組合に所属していますので、最寄りのはぴライン鯖江駅から乗車し、JR福井駅で、会長を含め4人で北陸新幹線に乗り、東京まで向かいました。

北陸新幹線に乗るのは今回で3度目になります。新幹線開業から日が浅く、機械や設備が新しいためか、乗り心地よく快適に3時間弱で東京駅に到着しました。

昼食を済ませた後、会場である日比谷大音楽堂に向かいました。

会場には、のぼり旗を持った多くの人たちが、日本全国各地ごと集まっています。このよう光景を実際に目にするのは初めてのことで、その迫力に圧倒しました。

開始時間になると、はきはきとして力強い司会者の声かけで幕をあげ、その後は主催者あいさつ、交渉団代表決意表明、各政党の来賓あいさつ、基調報告、大会決議の提案と続きました。

主催者側の発表によると、47都道府県で動員規模2000人を予定していたところ、1918人の動員があったとのこと。

当日、東京は気温12度で、小雨まじりの肌寒い1日でしたが、無事、要求活動を終えることができました。企業での働き方改革が進められるなか、一人親方や個人事業主が大部分を占める我が建築組合において、日本全国の仲間が集まり団結して要望することにより、



声を合わせて訴える全国の仲間たち

我々組合員の要望が叶うことを強く願い、私の活動報告いたします。

理事
小松 高宏

全建総連 予算要求中央行動及び地元国会議員要請行動

11月29日、東京衆議院第一議員会館大会議室において、全建総連の予算要求中央行動は、全国40県連・計132人の出席により盛大に開催された。福井県連からは、竹島正和会長、副会長、南の2名が出席した。

開会あいさつに主催者を代表して、鈴木中央執行委員長が「現場の状況をしっかりと伝えていくために、全国の仲間が一致団結して各省庁や国会議員に声を届けていきたい」と執行部の姿勢を参加者に示した。

次に小倉書記長から情勢報告があり、各担当部長から要請にあたっての説明があった。

予定の時刻になると、地元国会議員への要請

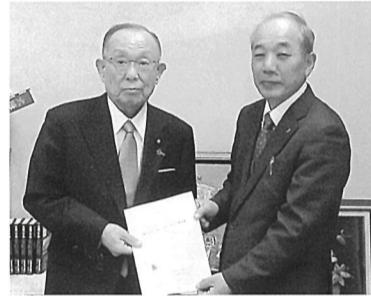
各省庁へ向かい、福井県連は林野庁と経済産業省に訪問し要求行動を行った。それぞれの場所、全建総連を代表して、要請要請を発言し、それに対し省庁の担当者からそれぞれ回答を述べた。

地元国会議員への要請行動は、県選出の6名とアボを取り、27日に立憲民主党の波多野翼氏、28日に自由民主党の山崎正昭氏、稲田朋美氏、農林水産副大臣に就任された自由民主党の滝波宏文氏、日本維新の会の斉木武志氏、29日に立憲民主党の辻英之氏を訪問し、建設国保の現行水準確保と現場職人の働き方改革

について重要性を伝え、それぞれにしっかりと認識していただいた。

数日間にわたり会場内外の各所では、県連役員同士の意見交換が行われており、互いの県連の近況報告や他県連の情報などを収集していた。

副会長
南 信博



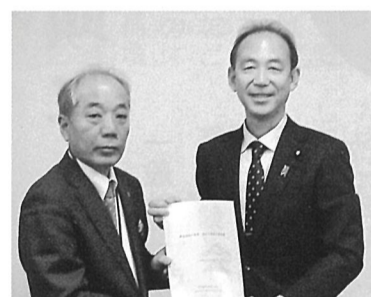
参議院議員 山崎正昭氏



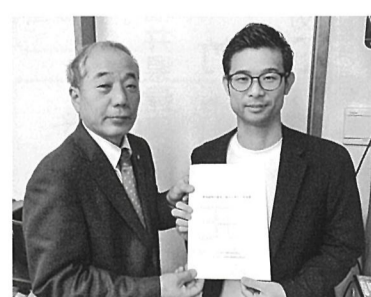
衆議院議員 稲田朋美氏



農林水産副大臣・参議院議員 滝波宏文氏



衆議院議員 辻英之氏



衆議院議員 波多野翼氏

[急遽都合により当日は育木氏と面会できなかった]

全国青協幹部会議に出席



グループディスカッションの様子

11月9日・10日静岡県静岡市にて行われた第28回全国青協会議に参加してきました。

1日目の全体学習では全建総連で過去に書記長をされていた古市氏から「組合の歴史」と「青年部の必要性」について、全建総連竹谷組織部長から「青年部情勢」「組織拡大の必要性」について講演がありました。

2日目は1班7人前後でのグループディスカッションを行いました。各地協の情勢や悩みを共有し、これからの活動にどう活かすかなど、熱い議論が展開されました。

今年1年間は、全国幹

事として結構な頻度で県外出張が続きました。北陸新幹線が開業し、東京までは3時間ほどで乗り継ぎなしで快適に行けるようになりましたが、静岡県までは4本乗り継ぎになり、これが結構大変でした。

早く北陸新幹線が大阪までつながってくれないかなと思いついてみると2040年までかかるそうです。まだまだ先は長そつですね。

全国青協幹事
谷口喜則

令和6年度 現代の名工表彰



受賞した上坂氏

私はこの賞をいただきたい、今までやってきたことが認められて大変嬉しく思っております。

時が過ぎるのは早く、この仕事を始めて40年超となりました。

節目節目を思い起こすと、大変懐かしく思い出します。途中色々ありましたが、やはりこの仕事に戻って良かったです。

この仕事が好きなんだなと思います。

今までたくさん職人を育ててきましたが、職

人さんたちには遅くまで仕事をしてもらったり、厳しいことを言ったりと嫌われていたと思いましたが、独立して何年経っても慕ってくれることは心があられます。

今では息子たちが中心に仕事をしてくれていますが、我々の時代とは違い大変難しい時代だと思います。全において、今後は見守りつつ、信念を伝えられたらと思うて生きていきます。

今立組合
上坂純也
(職種・内装仕上げ)

組合長全体会議に出席して



会議に出席した組合長たち

11月15日に、組合長全体会議に出席しました。その中でいくつかの議題がありましたが、気になった点を述べさせていただきます。

●会員増強プロジェクト
現在加入している方は健康保険目的で加入している方が多いので、役員及び活動に関する参加が億劫で、その縛りがとけるならば入会される方も増えるかと思われます。保険関係だけの組合ならば、参加者が増える可能性もあるし、声を掛けやすいです。

●ふくいプライムクラブ
については、主として大工さんが対象。現在組合員数の割合が大工さんなのか分かりませんが、たくさんの方の会員にするには無理があるかも知れません。

●LINE公式アカウント
については、これが大いに活用していただいて、広報関連はペーパーレスでお願いしたい。参加法が今後の課題です。

●雪下ろし事業者登録について、小浜市では高齢・障がい者元気支援課と、若狭瓦工組合が連携して雪下ろし事業を行っています。自分自身は瓦工事業者なので建築組合の事業者登録はできないが、人員不足であり登録業者が増えることを願っています。

●口座振替状況報告については、当初の目的が組合の回収事務の負担軽減なので、振替不能者が出た場合、催促・徴収を支部に負担をかけたくなかったです。

●石川県応急仮設住宅に関して、2期工事の参加を考えている知り合いがいました。しかし、1期工事の完成まで携わった方が優先となり参加ができませんでした。そのような情報をもっと早く周知して、柔軟な対応をしてもらつと組合員の増加のチャンスであったかと思えます。

●講演について、建設国保のはがきが本当に重要なかが理解できませんでした。キャリアアップ

加しても既読にならず、大事な内容は結局電話をするのは二重手間であることも問題点です。

●マスターズクラブについては、退会防止対策を考えているのはわかるが、事業内容を含め高齢者に対して尽力をそそぎすぎるのではないだろうか。

●雪下ろし事業者登録について、小浜市では高齢・障がい者元気支援課と、若狭瓦工組合が連携して雪下ろし事業を行っています。自分自身は瓦工事業者なので建築組合の事業者登録はできないが、人員不足であり登録業者が増えることを願っています。

●口座振替状況報告については、当初の目的が組合の回収事務の負担軽減なので、振替不能者が出た場合、催促・徴収を支部に負担をかけたくなかったです。

●石川県応急仮設住宅に関して、2期工事の参加を考えている知り合いがいました。しかし、1期工事の完成まで携わった方が優先となり参加ができませんでした。そのような情報をもっと早く周知して、柔軟な対応をしてもらつと組合員の増加のチャンスであったかと思えます。

●講演について、建設国保のはがきが本当に重要なかが理解できませんでした。キャリアアップ

システムも初めて知る機会になり、これも本当に必要なかが疑問です。昨年からの義務化とのことでしたが、入会・会費がコスト負担になり参加者が減っていないのはいではないでしょうか。どこかの運営団体のお金集めではないのでしょうか。

以上まとめとして、役員の間をよくしたいと思いたいだけの組合員にはかなりの温度差があるように感じました。役員の方は本業以外に大変な業務だと思いますが、よりよい県連になるよう願っています。

小浜組合組合長
武内孝憲

ご購入申し込み、お問い合わせは 福井支局 0120-247-010

北陸の業界紙

日刊 建設工業新聞

http://www.kensetsu-news.co.jp

発行所 北陸工業新聞社 本社 金沢市若草町2-42 TEL(076)241-8361(代) 福井支局 福井市成和1丁目2105番地 支局 富山・新潟